平成２９年　鳥取市教育委員会 ７月定例会 会議録

１　日　　時　平成２９年７月２５日（火）　１３時３０分 から

２　場　　所　鳥取市教育センター　２階　第１研修室

３　出 席 者

教育長　：　尾室　高志
教育長職務代理者：　藤井　喜臣
委　員　：　石谷　充
委　員　：　山脇　彰子
委　員　：　畑　千鶴乃

〔事 務 局〕
副教育長：吉田 博幸　　次長兼教育総務課長：木村 義彦
次長兼学校教育課長　河上 照雄
次長兼生涯学習・スポーツ課長：奥村上 雅浩
文化財課長：冨田 恵子　　学校保健給食課長：藏増 祐子
中央図書館長：田村　晴夫　　教育センター所長：半田 雅人
生涯学習・スポーツ課参事：河井 智子
教育総務課長補佐：山名 常裕
学校教育課長補佐：山根 ちはる

〔傍 聴 者〕　なし

４　会議次第

〇行事報告及び行事予定について　〔教育総務課〕

【説明・協議事項】
（１）鳥取市就学援助費交付要綱の一部改正について　〔学校保健給食課〕
（２）文化財の保存及び保護に関する補助金等交付要綱の一部改正について〔文化財課〕

【報告事項】
（１）平成２９年度次代を担う派遣事業派遣者一覧について　〔教育センター〕
（２）鳥取市の新登録の登録有形文化財（建造物）について　〔文化財課〕
（３）鳥取市歴史博物館常設展示ありかた検討委員会の設置について　〔文化財課〕
（４）鳥取城跡サクラ管理計画の策定について　〔文化財課〕
（５）仮スケートボード場の整備について　〔生涯学習・スポーツ課〕

【質疑・意見交換】
（１）計画訪問について（意見交換）　〔学校教育課〕
（２）市教育委員会所管施設の避難所への指定と備蓄の状況について　〔教育総務課 他〕

【先回定例会の議事録】

【その他】
（１）次期委員会の開催について
［８月］　平成２９年８月３０日(水)　１３:３０　～　教育センター２階 第１研修室
［９月］　平成２９年９月　　日(　)　　：　　～

（２）平成２９年度市町村教育委員会研修会（県教委主催分）について
平成２９年８月９日（水）　１３：００～　ホテルセントパレス倉吉

５　会議概要

１３時３０分　開会
尾室教育長　あいさつ

〇行事報告及び行事予定について
教育総務課長（資料に基づき説明する。）

【説明・協議事項】
（１）鳥取市就学援助費交付要綱の一部改正について
学校保健給食課長（資料に基づき説明する。）
【質疑等】
(委員)
第２条の対象者のことですが、対象者に私学を除いていますが、激甚災害の被災者になっても私学を除くということでいいものかどうか、今年の予算措置は難しいかもしれませんが、激甚災害の被災者であれば私学も対象にすべきではないかと思います。
また、対象経費のところで通学費について、国立が除かれていますが、なぜ国立が除かれるのですか。国の方で通学費の助成の制度があるのならいいのですが、ないのなら必要ではないかと思います。
(学校保健給食課長)
他市町村を調べてみましたところ、国立を対象にしておられる自治体や対象としておられない自治体があります。それぞれの自治体で判断をされているようです。

（委員）

通学費以外の費用は国立にも援助をしているのに、通学費のみ国立を除くということに違和感があります。

それと、対象経費の（６）（７）にある「鳥取市内の小学校又は中学校に在籍する」というのは要らないと思います。

（尾室教育長）

激甚災害の場合に私学も対象にするかどうか、就学援助の対象経費のうち通学費のみ国立を除いていることについては、また検討していきたいと思います。

（２）文化財の保存及び保護に関する補助金等交付要綱の一部改正について

文化財課長（資料に基づき説明する。）

【報告事項】

（１）平成２９年度次代を担う派遣事業派遣者一覧について

教育センター所長（資料に基づき説明する。）

【質疑等】

（委員）

派遣期間が１泊２日の方とか２泊３日の方とかいろいろですが、これは先方の都合ですか。

（教育センター所長）

実は両方でありまして、この事業ができたときには１週間程度の予定でスタートしました。しかし、学校の中で１週間業務を空けることはなかなか厳しい状況でありましたし、対象を管理職である教頭等も行くことが可能と広げたりしながら、新しいところに行っていただこうと試みたところでございます。

（委員）

１泊２日ではなかなか把握することができないと思うので、５日間くらいじっくりと勉強してきていただいて反映してくださった方がいいのではないかと思いました。

（尾室教育長）

確かに１日、２日の研修では身につかないということもありますので、これは来年度に向けて検討させてください。

（２）鳥取市の新登録の登録有形文化財（建造物）について

文化財課長（資料に基づき説明する。）

（３）鳥取市歴史博物館常設展示ありかた検討委員会の設置について

文化財課長（資料に基づき説明する。）

（４）鳥取城跡サクラ管理計画の策定について
　文化財課長（資料に基づき説明する。）

（５）仮スケートボード場の整備について
　生涯学習・スポーツ課長（資料に基づき説明する。）

【質疑・意見交換】
（１）計画訪問について
（委員）
　毎年計画訪問に行かせてもらっていますが、こういう皆さんが一同に会した場で情報を共有する場があってもいいのかなと思い、テーマを出させていただきました。私は今年度瑞穂小学校と、国府東小学校へ行かせていただきました。いつも小規模校を訪問させていただくと言われることですが、子ども達が引っ込み思案でなかなか自分から前に出ようとしないということをよく言われます。その対策として、年間を通じて幅広くいろんな経験をさせるような試みをしていると聞きまして、私が思ったのは児童生徒の活動費というのを一律に配分するのではなく、学校に応じた配分にしてはどうかと思いました。本物を見せるというのは大事ですし、そういったところで少しでも課題が克服できればいいなぁと思いました。
　それと高草中学校を訪問したのですが、想像以上に列車による騒音がひどくて、列車が通るたびに先生が言葉を止めたりしていて、特に特急が通るときには先生の声が全く聞こえない状態とのことで、教育環境を直さないといけないと思いました。
　空調設備のことでも、地球規模の気候変動というのは命に関わる問題だと思いますので、財政的な問題もあると思いますが、ぜひ冷房の全学年配置というのを最優先事項として挙げていただきたいと思いました。
（委員）
　私は宝木小学校と千代南中学校を訪問しました。どちらも小規模校でしたが、授業の中で小さなグループを作って、グループディスカッションをして発表者を決めて発表をするというような工夫をされていて、その小さなグループのなかでリーダーシップを取るとか、まとめた意見を発表させるとかという工夫をされているのがいいなぁと思いました。英語の授業もとても楽しく興味深い内容の授業をされていました。今回、感じたことは、小規模校は小規模ながらいろいろ工夫をされていてよかったということでした。
（委員）
　私は浜村小学校を訪問しました。訪問した後に、東部の教育委員研修会がありコミュニティースクールの状況やこれからの課題がテーマだったのですが、それをもう一度自分の中でおさらいした上で浜村小学校に臨めばよかったなと思いました。
　浜村小学校でおっしゃっておられたのは保小連携の難しさをお話しされていました。隣りにあります保育所から上がってくる子ども達の小学１年生の段階での落着きのな

さとか、学習態度を身につける難しさを感じておられて、具体的な実践をお隣りに保育所があるからこそ一緒になって考えて、具体的に取り組んでいきたいとおっしゃっておられました。浜村小学校に限らず、学校訪問では福祉との連携の難しさをお話しされる学校が多くて、実際に具体的にお話を聞いて連携するところをお伝えしたりして一緒に考えることができるのはよかったのですが、その後どうなったのかがわからないので、その後どうなったのか、どうしていこうかということを考えられる場があったらいいなと思います。実際の子どもの姿を見ることができるので、子どもの姿を捉えながらお話ができるのでとてもよかったですし、学校が抱えておられる切実さも子どもの姿を通してよく把握できるので、もう少し福祉との具体的な連携というものをこれからの学校訪問のなかでお話しできる場面があるといいと思います。

（２）市教育委員会所管施設の避難所への指定と備蓄の状況について

教育総務課（資料に基づき説明する。）

【質疑等】

（委員）

鳥取県中部地震のときに、学校の先生が避難所の運営に尽力されたという話をお聞きしたので、仮に学校の先生が一時的に避難所の運営をされるときに、どんなものが備蓄されているのか把握しておかないといけないし、もし備蓄が十分でなければ教育委員会から防災関係の部署に要請する必要もあると思い、今回意見交換のテーマに挙げさせてもらいました。いただいた資料を見ると、例えば粉ミルクは駅南庁舎にしか備蓄されていないので、災害があったときには配るということでしょうけど、本当に配れるのかなと思いますし、ほ乳瓶と粉ミルクはセットで備蓄してあってもいいのではないかと思いますが、ほ乳瓶はいろんな場所に備蓄されているけれど粉ミルクは駅南庁舎にしか備蓄されていないし、ほ乳瓶があっても粉ミルクがないとミルクは飲めないわけで、本当に駅南庁舎から各避難所へ粉ミルクが配れるのかなと思います。乾電池の備蓄場所も少ないので、乾電池が本当に懐中電灯のある避難所に配れるのかなと思いますので、最悪の場合に配ることを前提にして、もう少し備蓄しておかないといけないと思います。

（委員）

地域によって差はあると思いますが、最近は自助・共助といった意識が薄いところがあります。例えば避難勧告が出て避難所が設営された場合に、本来は避難所の運営は地域住民の防災組織に沿って行うべきだというのを内閣府の防災マニュアルに記載されていると、以前に防災の研修に出たときに聞いたことがあります。そういうことをもっと徹底していかないと、自分達の地域を自分達で守るという自主防災意識というのが少し欠けているように思います。

（委員）

そういう意識が希薄になっている部分は確かにあるのですが、地区には地区で要援

護者の避難の支援とかいろいろ求められて役割があったりするので、昼間に何かあったらあまり人がいないし、本当にできるのかなと思うこともあります。

もし学校の先生が避難所の運営にあたられるようなことがあったときに、物資が足りないということで住民の方から責められたりするのは気の毒だと思います。

（教育総務課長）

備蓄の件についてですが、今回いただいた意見を危機管理課に話をしていきたいと思います。

【先回定例会の議事録】

【その他】

（１）次期委員会の開催について

［８月］　平成２９年８月３０日(水)　１３:３０　～　教育センター２階 第１研修室

［９月］　平成２９年９月２７日(水)　１３:３０　～　教育センター２階 第１研修室

（２）平成２９年度市町村教育委員会研修会（県教委主催分）について

平成２９年８月９日（水）　１３：００～　ホテルセントパレス倉吉

教育長　以上で７月定例教育委員会を終了します。

閉会　１５時００分